



針生の水力発電所を復活しては

町長＝前向きに調査・検討する

問

針生発電所を復活し、売電や雇用、観光活性化につなげては。

町長

阿賀川や伊南川、その支流の豊富な水資源は、自然エネルギーの推進や特色あるまちづくりに重要な資源であり、地域経済や雇用に連動するよう活用します。

針生地区の水力発電所は廃止から40年以上が経過し、水利権や取水対策、環境への影響など、再開には多くの課題があります。今後、具体的な調査や検討をします。

問

産業活性化に向け、地元企業が活用できる水力発電事業を推進しては。

町長

現在、「山口温泉きら



昭和43年まで37年間発電を続けた針生発電所（最大出力380kw）

「289」では、木質バイオマスボイラー工事を実施しており、ボイラー本体工事を除き、それ以外は地元企業が工事をしていきます。

また、自然エネルギーは、自然災害に備える町づくりの観点からも地元企業による施行・管理で今後も地元優先に配慮します。

美しい星空を町の活力に

町長＝環境教育や旅行企画に組み入れる

問

美しい星空を教育と観光へ活用しては。

町長

南郷地域の宿泊施設では、復興キャンペーンの一環として「星空観察とホテル鑑賞」の旅行企画を提案し、施設利用者に提供しています。

また、「ふくしまっ子夏の体験活動応援事業」等の取り組みでも、

澄みきった星空を堪能できる旅行企画を提供し好評でした。

本町のスキー場や伊南川流域は、満天の星空を一人占めできる絶好の観察ポイントであり、子どもたちの体験活動ができる環境教育の実践に努め、旅行代理店へ星空ウォッチングを企画に取り入れるよう要請していきます。

その他の質問

・デジタル映画館として、御蔵入交流館大ホールを